

# 平成 30 年度中学生チャレンジテスト

## 第 3 学年 国語

### 注 意

- 1 調査問題は、1ページから24ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。  
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号、男女を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

左に、生徒アンケートが二問あります。先生の指示に従って、調査開始前に取り組んでください。アンケートの回答は解答用紙のアンケート欄のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

#### アンケート

次のアンケートを読んで、当てはまるもの一つずつ選びなさい。

- (1) 国語の授業の内容はよく分かる。……………①
- (2) 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。……………①

①	当てはまる
②	どちらかといえは、当てはまる
③	どちらかといえは、当てはまらない
④	当てはまらない



問題は、次のページから始まります。

【受検票の下書き】 次の【受検票の下書き】にある下線部A、Bのうち、【受検票に関する注意】の指示とは異なっているものを指示に合うように解答欄にていねいに書き直しなさい。

【受検票の下書き】

受検票		※
ふりがな		
名前	A <u>松波光</u>	
住所	大阪府大阪市中央区 <u>大手前2丁目</u> B	

【受検票に関する注意】

- ・ 記入にあたっては、<sup>かいいしょ</sup>楷書で記入してください。
- ・ ※の欄の記入は不要です。
- ・ 受検票は検定当日必ず持参してください。

問題は、次のページに続きます。

【二】 木田さんたちは、図書委員会で「図書室だより」の原稿案を作成しています。次の原稿案の【表】、【裏】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【表】



## 図書室だより



編集

図書委員会

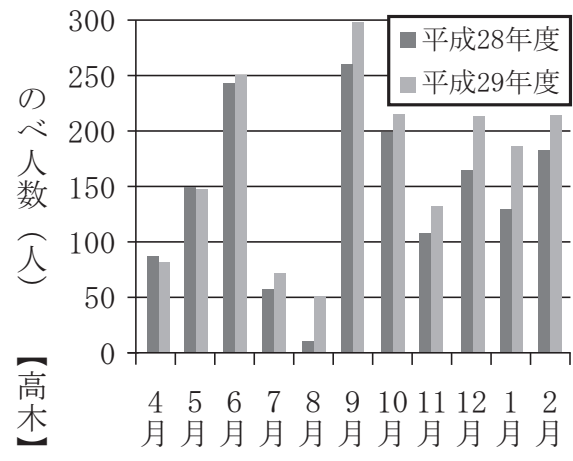
一年間を振り返って

今年度、図書委員会は「もっと本を好きになる」をテーマに活動してきました。五月には、地域の図書館へインタビューに行き、図書館で行われている取り組みについて詳しい話を【あ】。六月以降、図書館で学んだことを生かした取り組みを実施してきました。中でも地域の園児との交流や先生の協力が得られた取り組みは、反響が大きく、それぞれのメッセージもいただきましたので、掲載【あ】しています。

【森本】

図書室の月別利用者数

一年間の取り組みの結果、図書室の利用者数に次のような変化がありました。



【高木】

園長先生からのメッセージ

『読み聞かせ教室』を開いてくださりありがとうございます。皆さんがこの日に向けて練習してください。当日、たくさんの本を読んでもらい、園児たちはとても喜んでいました。この日以来、「今度はいつあるの？」という園児の声とともに、保護者の方からも「家でよく本を読むようになりました。」また、「気に入った場面の話をしてくれれます。」という話をよく聞きます。最後になりましたが、皆さんのますますのご活躍を期待しています。

【チューリップ園 園長先生より】

## 校長先生からのメッセージ

六月から『先生からのおすすめ本』が校内に掲示され、生徒から「校長先生は、どんな本を読まれますか。」と聞かれることが増えました。そして夏休みが明けてから、校内で友達同士が本の感想を話す姿を多く見かけるようになりました。また、アンケートの読書に関する質問では「読んだ本の数が増えた。」という回答が昨年度より増えていました。皆さんが進めている取り組みが効果的に広がり、発展していく様うれしく感じています。

今回の取り組みで得られた学びがこれからの生活に生かされることを楽しみにしています。

【校長先生より】

## 新刊が入りました！

まだ準備中の本もありますが、一週間後の三月九日にはすべての本が出そろう予定です。

今年度、購入希望があった図書を区分別の表に整理しました。最も希望が多かったのが文学でした。これからの話題にのぼった本をそろえていきます。

購入希望図書の内訳 (%)

総記	3
てつがく 哲学	3
歴史	12
社会科学	11
自然科学	10
技術・工学	5
産業	3
芸術・美術	10
言語	6
文学	37

【平田】

## みなさんへのお願い

返却期限を守り、読みたい本をみんなでき共有できるようにご協力をお願いします。

## 編集後記

今年度はたくさんの方のアンケートにご協力いただき、ありがとうございます。みなさんから寄せられた意見を参考に、今後もよりよい図書室のウンエイに向けて、カイゼンしていききたいと思います。

【図書委員一同】



【木田】

1 線部 a c のカタカナを文章中の内容に合うように、漢字に直し楷書かいしょで書いてねいに書きなさい。

a ヌセ

b ウンエイ

c カイゼン

2 森本さんは、原稿案の【表】にある あ に「聞きました」と書いていましたが、この場合は謙譲語けんじょうごで書くほうがふさわしいと思いました。「聞きました」を謙譲語に直し、五字以上、十字以内で文脈に合う形で書きなさい。



3 のぼった<sup>①</sup> とありますが、この記事で使われている「のぼる」の意味として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 高い所に行く
- イ 物の上に置かれる
- ウ 取り出して示される
- エ 数量がある程度に達する

4 国語の授業で手紙の書き方を学んだ木田さんは、インタビューでお世話になった地域の図書館の方に手紙を送ろうと考えました。次の【手紙の下書き】を読み、あとの問いに答えなさい。

【手紙の下書き】

①

日ごとに春の訪れを感じるようになりました。皆様がたには、いかがお過ごしでしょうか。さて、昨年の五月には図書館の取り組みで工夫くふうされていることについてお話をいただきました。三月になり、一年間のふりかえりができましたので、お伝えしたいと思います。

②

A を見すえる、「自分たちだけではなく周囲の人たちを引き込む」の二つの要素を合わせることで継続的な効果を生むという話はとても勉強になりました。

その後、この二つの要素と私たちのテーマである「もっと本が好きになる」を合わせた取り組みを考え、実行してきました。特に反響が大きかった取り組みは、

B

これらの結果、昨年度より図書室の利用者数が増加しました。

最後になりましたが、皆様がたのご多幸と図書館のますますのご繁栄はんえいをお祈り申しあげます。

③

三月二日

〇〇立△△図書館の皆様

〇〇立□□中学校 木田 のぞみ

(1) 線部②の意味が「先のことに意識を向ける」となるように、Aに当てはまる言葉を漢字二字で書きなさい。

(2) い、㊦には頭語と結語が入ります。次のア～エのうち、【手紙の下書き】で使われる頭語と結語の組み合わせとして、最も適しているものを一つ選びなさい。

- い ー ㊦
- ア 拝啓ー敬具  
イ 拝啓ー草々  
ウ 前略ー敬具  
エ 前略ー草々

(3) Bには図書委員会の取り組みの報告が入ります。あなたならどのように書きますか。——線部③に続けて、次の条件に従って書きなさい。

条件1 原稿案の【表】、【裏】にある取り組みを二つ取り上げること。

条件2 それぞれの取り組みから得られた効果のうち、共通しているものを二つ取り上げること。

条件3 七十字以上、九十字以内でまとめること。

【三】 林さんの学級では、防災・減災について話し合いを行いました。次の【意見発表】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見発表】

田村さん　これから話し合いを始めます。テーマは、『防災・減災に向けて私たちにできること』です。はじめに、

各グループの代表者三名から意見発表があります。今日のために、どのグループも熱心に相談されています。おそろく多様な視点からの意見が発表されることでしょう。次に、グループで相談する時間を取ったあと、代表者同士による意見交換を行い、最後に、聞いている人も含めて全体で質疑応答を行います。これらを通して、全員で、防災や減災について考えていきましょう。

それでは、林さんから順に、発表していただきます。一人一分程度でお願いします。

林さん

私たちは、自分の身の安全を確保し命を守るために、『避難場所・経路の確認』を考えています。こう考える根拠は二つあります。第一の根拠ですが、私たちの住む地域では、川や池、丘陵部が多く、それらの近くには住宅があるので、毎年のように心配される被害として、大雨による増水やがけ崩れなどが考えられるからです。避難の際には、安全ですみやかな移動が大切です。第二には、私たちの地域には、昔ながらの細い道や家屋がところどころに残っているので、避難者の集中による混雑や家屋の損壊などが考えられるからです。ここでも安全はもちろん、あわてず落ち着いた行動が大切です。これらから、『避難場所・経路の確認』を考えています。

山本さん

災害が起こったとき、一番大切なのは、かけがえのない命を守ることです。そして、命を守るために必要なものは水と食料ではないでしょうか。ア また、懐中電灯やラジオなどの防災用品の準備も必要です。

イ これらは、日常の生活で利用しているものを思い返して準備すればよいと思います。社会科でも学習したように、日本は地震や洪水など自然災害が多い国です。ウ 私たちの地域も、毎年のように大雨などの

被害が予想されるところです。また、山のすぐ近くに家があったり、丘陵部にも宅地造成が進んだりしています。様々な自然災害により、家が孤立したり、電気や水道などのライフラインが止まったりする場合への備えが大切です。エ 私たちは、このことから『水・食料、防災用品の準備』を考えています。

大田さん

私たちは、『住まいの安全点検』を考えています。一つめの理由は、私たちの地域ではこのところ大きな地震が発生していないので、地震対策として住まいを点検している人は少ないと思うからです。地震対策について近所の方に聞いてみたところ、「心配はあるけれど、そんなに急がなくても大丈夫ではないか。」というような答えが半分以上ありました。これまでの事例では、負傷者などの多くが家具などの転倒によるもので、命を守るために点検が急がれます。二つめの理由は、防災や減災の様々な観点から住まいを点検していく過程で、その意識が高まると思うからです。また、その結果、他にすべきことも見えてきます。今すぐ、『住まいの安全点検』をしませんか。

1 発表されることでしょう。の中の助動詞「う」と同じ意味で使われているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

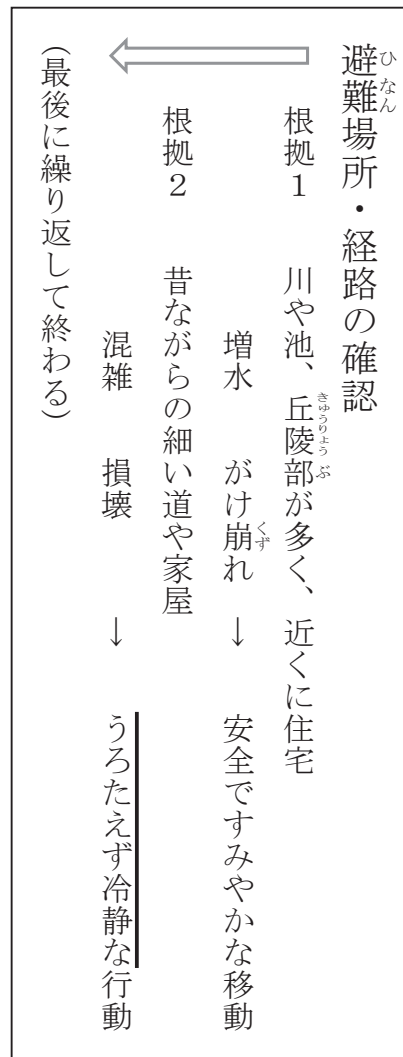
- ア さあ、みんな、元気を出して山に登ろう。
- イ 家族みんながそろうまで、ここで待とう。
- ウ 今度こそ一緒に読書会に参加しよう。
- エ 雲が広がってきたので明日は雨であろう。

2 【意見発表】で、田村さんは司会を務めています。司会が果たす、次のア～エの役割のうち、ここでの田村さんの発言に含まれていないものを一つ選びなさい。

- ア 参加者全員に、これから何について話し合いを行うのかを伝えること。
- イ 参加者全員が発言しやすいように、意見の内容を整理して伝えること。
- ウ 話し合いについて、どのように進めていくのかを参加者全員に伝えること。
- エ 進行の目安となるように、発言等に費やす時間を参加者全員に伝えること。

3 林さんは、次の【発表メモ】をもとに意見を発表しました。その際に、林さんは——線部の言葉を、聞く人が分かりやすいように言い換えています。言い換えた言葉を【意見発表】での林さんの意見の中から、九字で抜き出さない。

【発表メモ】



4 【意見発表】で、山本さんは、林さんが発表した意見を聞いて、自分の意見と重なるところがあることに気づいたことから、「先ほどの意見発表にもありましたか、」という言葉を加えて発表しました。山本さんの意見の中の【エ】のうち、この言葉が入る最も適しているところを、一つ選びなさい。

5 次の【大田さんのグループでの発表前の相談の一部】の [ ] に入る言葉を、【意見発表】での大田さんの意見から六字で抜き出しなさい。

【大田さんのグループでの発表前の相談の一部】

山中さん 住まいの点検を実際に見たら、玄関以外で、避難に適する出口も三か所分かったよ。

島本さん 確かに。避難時に備えて、そこにスリッパなどを用意しておくことにも気がついたよ。

小山さん 私は、点検途中で緊急用の食料や防災用品をどこに置いておけばいいのか、家族と話し合ったよ。

大田さん みんなの気づきから考えると、点検することで、防災・減災への [ ] ことにつながったからかな。

小山さん それは、住まいの点検を主張する一つの根拠になりそうだね。

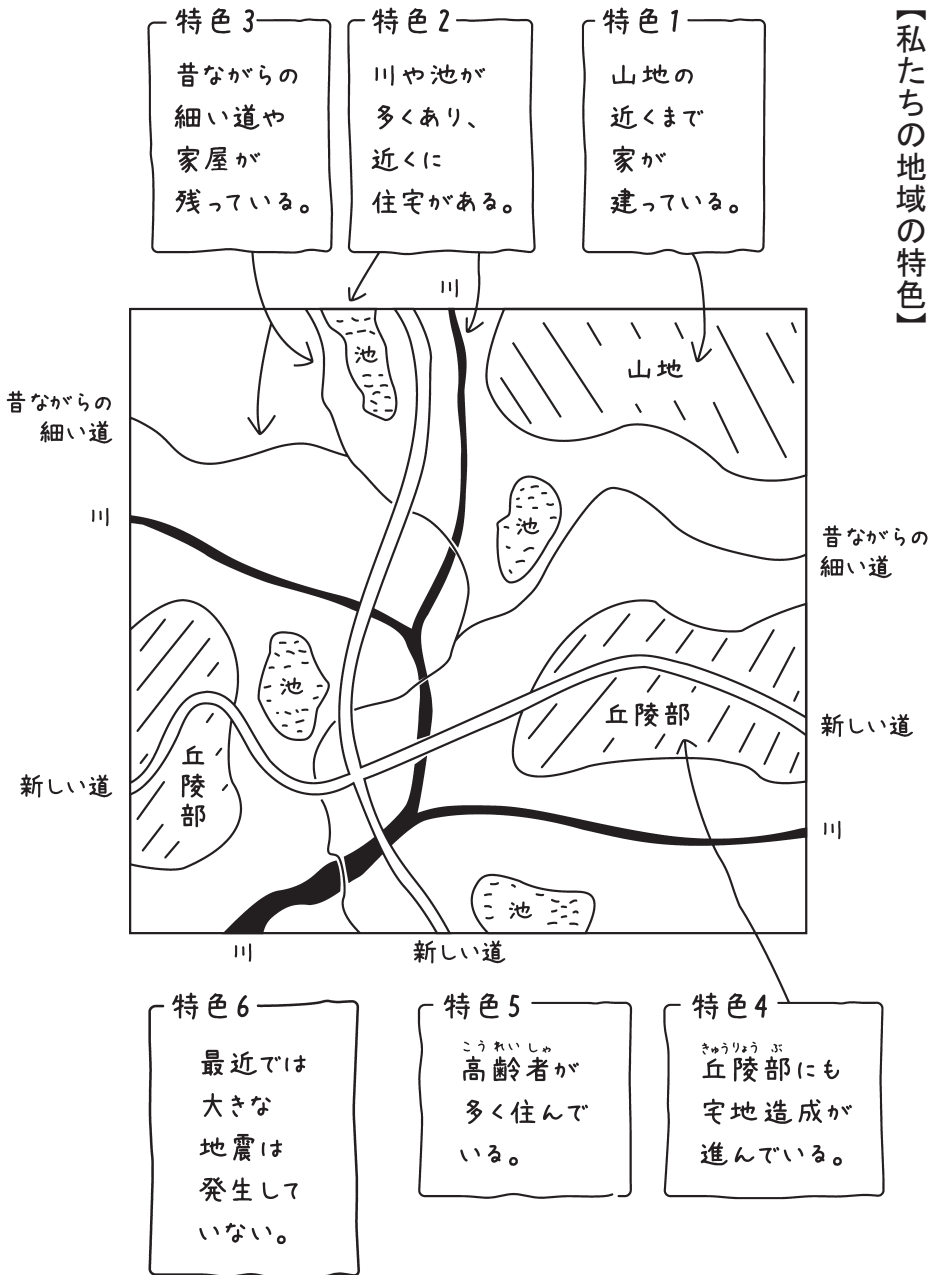


問題は、次のページに続きます。

## 6

【意見発表】での三名の意見は、次の【私たちの地域の特色】をもとにして発表されました。次に行う代表者による意見交換の前に、林さんたちは、自分たちの考えである『避難場所・経路の確認』をさらに補強するための意見を考えました。あなたが林さんと同じグループにいたとしたなら、どのような補強意見を述べますか。あとの条件に従ってまとめなさい。

### 【私たちの地域の特色】



条件 1 補強意見の根拠として、【私たちの地域の特色】にある特色 1～6 から一つ取り上げること。ただし、取り上げる特色は、【意見発表】での三名の意見に使われていない特色であること。

条件 2 次の【共助】の観点をふまえた具体的な行動を示すこと。

【共助】 地域の一員であることを自覚し、互いに助け合う。

条件 3 「第三の根拠として、私たちの地域は、」に続けて、四十字以上、七十字以内で書くこと。

#### 四

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文は、ちゆうしょうてき抽象的な概念を表すことばを、子どもがどのように理解することができるようになるのかについて、「愛」を例にあげて説明をしています。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(今井むつみ『ことばの発達の謎を解く』より、一部改変)

1 線部 a c の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

a 単純

b 絶え

c 親しみ

2 次のア～エのうち、に入る言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 「愛とはなんですか？」と聞けること

イ 「愛する」という気持ちがあること

ウ 「愛」をプログラムできること

エ 「愛」の意味がわかること

3 線部①の内容と合っているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア 新たな言語の獲得は、子どもがことばの定義を理解して深めていくという考え。

イ 新たな言語の獲得は、子どもがことばを整理し名前を付けて満足していくという考え。

ウ 新たな言語の獲得は、子どもがすでに持っている概念にことばを結び付けていくという考え。

エ 新たな言語の獲得は、子どもがことばの字面じづらで定義を判断することで成り立っているという考え。

4 線部②とありますが、その理由を次の文にまとめています。は六字、は五字で抜き出し、文を完成させなさい。、に入る最も適している言葉を本文中から、

子どもがあることばの意味を獲得するということは、そのことばと今まで漠然ぼくぜんとして概念のことばとの関係を明確にし、それらの違いについてていくことである、と筆者は考えているから。

5 次の文は、——線部③に施されている、、、の表記について説明したものです。 D に入る最も適している言葉を本文中から七字で抜き出し、文を完成させなさい。

この表記は、そのことばがもつ定義としての意味を表すのではなく、関連することばと区別した上で理解された D ということを強調したものである。

6 次の文章は、——線部④が可能になる理由を説明したものです。 E、 F に入る最も適している言葉を本文中から、 E は七字、 F は六字で抜き出し、文章を完成させなさい。

具体的なモノや行為こういに対応づけて身につけた E が増えると、自分の中にまとまったことばの体系ができる。すると、その知っていることばを使って、新しいことばと F ることで関連性や違いを明確にし、新しい抽象的な概念ちゆうしょうてんを獲得できるようになるから。

**【五】** 次の漢文（【書き下し文】）と【現代語訳】を読んで、あとの問いに答えなさい。

**【書き下し文】**

著作権者への配慮から掲載を控えております。

**【現代語訳】**

著作権者への配慮から掲載を控えております。



著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(おうえんしゅう欧陽脩『へいたんろく帰田録』より)

1 線部①の漢文は次のようになります。次の漢文の  で囲まれた部分を、 A  に入るように書き下し文に直しなさい。

睨 みルコト 之 これヲ 久 ひきシクシテ 而 レ  不 ず 去 ラ。

2  B  に入る 線部②の現代語訳として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 私の弓を射る腕前は、なんと優すぐれていないことか
- イ 私の弓を射る腕前は、なんと優れているではないか
- ウ 私の弓を射る腕前は、それほど優れているだろうか
- エ 私の弓を射る腕前は、それほど優れてはいないだろうか

3 線部③の漢文は次のようになります。 線部③の読み方になるように、次の漢文に一・二点をつけなさい。

爾 なんぢ 安 いづクンゾ 敢 あへテ 輕 かるンズル 吾 わガ 射 ヲ

4  C  に入る最も適している言葉を【書き下し文】から抜き出さなさい。

5 康肅公こうしゆくこうはこの話の最後の場面で、【現代語訳】にある~~~~線部の真意に気づきます。その意味を説明した次の文章の **D** に、適している言葉を七字以上、十二字以内で入れなさい。

康肅公は老人の技わざを見た後に、「私もただ手慣れていただけです。」という言葉ことばを聞いて気づきます。老人が言った言葉は、康肅公の腕前わでまへを決して **D** と理解できたのです。

6 ———線部④で、康肅公が老人を笑って許した理由として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 老人が全く理解できないことばかり言うので、あきれ果ててしまったから。
- イ 永年の経験で磨き上げられた老人の技を認め、老人の言葉を受け入れたから。
- ウ 老人の技と自分の腕前を一緒にされ、これ以上不愉快ふゆかいになりたくなかったから。
- エ 老人が自分の技を見せて、必死になって許してもらおうとしているのがわかったから。









